

平成 22 事業年度

決算報告書

【第7期】

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,786	4,786	-	
補助金等収入	531	474	△ 57	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	77	51	(注2)
自己収入	2,067	2,018	△ 49	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,985	1,866	△ 119	(注3)
財産処分収入	-	1	1	(注4)
雑収入	82	150	68	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	773	463	△ 310	(注6)
引当金取崩	-	2	2	(注7)
目的積立金取崩	246	234	△ 12	(注8)
計	8,429	8,057	△ 372	
支 出				
業務費	7,099	6,808	△ 291	
教育研究経費	7,099	6,808	△ 291	(注9)
施設整備費	26	26	-	
補助金等	531	462	△ 69	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	773	439	△ 334	(注11)
計	8,429	7,737	△ 692	
収入 - 支出	-	319	319	

○予算と決算の差異について

- (注1) 国等からの補助金により、予算額に比して決算額が57百万円減額となった。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金の受入が、予算額に比して決算額が51百万円増額となった。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料について、予算額に比して決算額が119百万円減額となった。
- (注4) 車両売却等に伴い、予算額に比して決算額が1百万円増額となった。
- (注5) 研究関連収入等の増加に伴い、予算額に比して決算額が68百万円増額となった。
- (注6) 受託研究等の受入が予算額に比して決算額が310百万円減額となった。
- (注7) 引当金取崩が予算額に比して2百万円増額となった。
- (注8) 目的積立金の取崩が予算額に比して12百万円減額となった。
- (注9) 業務費については特別経費の受入減等により、予算額に比して決算額が291百万円減額となった。
- (注10) 注1に示した理由により予算額に比して69百万円決算額が減額となった。
- (注11) 注6に示した理由により予算額に比して334百万円決算額が減額となった。